

APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

Vol.121 (2019年6月号)

発行
次世代電力ネットワーク研究会

 LAE 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

<今月の注目点>

- ・海外ニュースでは、経済面を意識した記事が中心です。
- ・国内ニュースは、リソースの遠隔制御と未電化地域へのシステム販売を紹介しました。
- ・事務局後記は、米国のバッテリーシステム設置業者の回顧を記しました。

目次

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	住宅 DR は 2028 年、今の 3 倍、全世界での容量は 47 GW に達するとの予測	- 1 -
1.2	VPP であることが当たり前の時代は来るだろうか	- 2 -
1.3	英国ベンチャー企業、Moixa がホンダと伊藤忠から \$1,100 万を調達	- 4 -
1.4	ニューヨーク州のエネルギーストレージインセンティブの詳細	- 6 -
1.5	V2G による EV、1 台当りの年間収入は £400 程度との研究	- 6 -
1.6	アムステルダムがオール EV へ	- 7 -
1.7	Engie が Jedlix と組んでベルギーでスマート充電をテスト	- 8 -
2	国内ニュース	- 10 -
2.1	太陽光発電電力有効活用に向けた電気給湯器遠隔制御の実証	- 10 -
2.2	丸紅、アフリカ未電化地域におけるソーラーホームシステムの販売	- 10 -
2.3	需要家側エネルギーリソースを活用した VPP 構築実証事業の開始について	- 11 -
3	事務局後記：あるバッテリー事業者の回顧より	- 13 -